

Ch L'Eglise Clinet 2002

シャトー・レグリーズ・クリネ



所有者 Denis Durantou
オペレーション ポムロール

シャトー・レグリーズ・クリネは、ボルドーのジロンド川右岸、ポムロール村の高台に位置しています。ポムロール村には格付け制度がありませんが、現在この村のトップ 10 に入る素晴らしいシャトーのひとつかと考えます。

1882 年に現所有者であるドゥニ デュラントウ(Denis Durantou)の祖父である Mauleon Rouchut が Clos L'Eglise や Domaine du Clinet からブドウ畑を購入、4.5ha のブドウ畑をポムロールの Saint John 教会の近くに所有し、ワイン造りを始めたのがきっかけでした。1982 年より現オーナーのドゥニ デュラントウに所有され、常に上質ワインを造り続けています。

このシャトーの特徴は、ブドウの樹がポムロールのシャトーの大部分のものより古いことです。1956、1985、1987 年の霜害のあとも引き抜かれることなく、畑に残されて回復を待ったためで、その結果、ほとんどの樹が見事に回復しました。ワインは細心の注意を払って造られていて、その結果、凝縮感のあるリッチで、しなやかで、フルーティな古典的ポムロールワインの生産を可能にしています。

シャトー・レグリーズ・クリネ 2002 は、メルロー主体、カベルネ・フランから成ります。ブラックチェリーなどの黒系果実、またラズベリーなどの赤系果実も感じて頂ける果実味豊かな味わい。ほのかに動物の皮、ローリエなどのハーブ、白こしょうなどのエピスのニュアンスがより上品な味わいへと感じさせてくれます。さらに特徴である“しなやか”且つ“なめらか”な口当たりとともにしっかりとした骨格を合わせ持つこのワインに最上のポムロールの味わいを堪能して頂けるかと考えます。

参考情報

土壌 粘土を含む砂利質、砂質、鉄
栽培面積 4.5ha
栽培比率 85% メルロー、15% カベルネ・フラン
平均樹齢 40 年以上
栽培密度 6,500 本/ha
樽熟成 18 ヶ月 (新樽:50~70% ヴィンテージによる)
年間生産量 18,000 本

s.a.r.l.Trente-Trois

39, rue Huguerie, 33000 Bordeaux, FRANCE Email:33@trente-trois.fr, Tel: +33(0)953459303